

2026年春から、
平成医療福祉
グループで
越境学習プロジェクト
が始まります！

子どもたちと一緒に、 新しい“じぶん”を 見つけよう！



感じる、知る、ともに生きていく。

「森の学校みつけ」（徳島県神山町※）で、
メンターとして働きませんか？

平成医療福祉グループでは、グループ
内のリハビリスタッフを対象に、オル
タナティブスクール「森の学校みつけ」
で半年間活動するメンター（スタッフ）
を募集します。みつけのメンターは、子
どもたちに何かを「教える」人ではあり
ません。子どもと同じ目線で世界を見
つめ、ともに問いを考え、発見の旅を
一緒に歩む「伴走者」です。知識を与え
るのではなく、子ども自身が「気づき、
見つける」プロセスをそつと支える
——それがメンターの役割です。

※神山町は徳島県の中央部、四国山地の森に囲まれ
た町です。里山の暮らしと自然が息づき、アート・農・
まちづくり・教育が共鳴する地域。「暮らし」と「創
造」が融合し、新しい可能性が生まれる場です。

「森の学校みつけ」
とは？

子どもたちが“ありのままの自分”で
いながら、未来を生きる力を育むこ
とを目指すオルタナティブスクールで
す。自分の感じたことを大切に、
仲間とともに世界を広げていきます。

Instagram

Webサイト



くわしくは
こちらから



■「じぶんを生きる」を、専門の外で学ぶ

私たちは日々、医療の現場でそれぞれの専門性を生かして働いています。その専門性を社会の中でより深く役立てていくためには、領域を越えて、ほかの分野の考え方や価値観に触れることが大切です。

そうした経験を通して視野を広げ、考える力を育むために、グループではこれまで、離島プロジェクトや海外事業への参加、研修や出向など、さまざまな越境の機会を広げてきました。そしてこのたび、新たな学びの場として「森の学校みっけ」で越境学習を始めることになりました。

■なぜ「森の学校みっけ」なのか？

子どもたちは本来、一人ひとり異なる個性や特性を持っています。ところが一般的な学校（一条校）では、学習指導要領という一つの指針に沿った教育が行われているため、「やるべきこと」といった“枠組み”の中で過ごす時間が多く、自分の気持ちや興味を表現する

機会が限られてしまいます。

そうした環境に合わない子どもは、不登校になったり、心や体の不調を抱えたりしてしまうことも。そしてその枠組みは、やがて社会の常識として大人をも縛り、時に追い詰めてしまうことさえあります。

オルタナティブスクールは、既存の教育のあり方に疑問を持った人たちが生み出した、もう一つの選択肢です。独自の教育方針のもと、多様な子どもたちがそれぞれのペースで学びを育んでいます。社会が大きく変化する今、日本の教育はもう一度そのあり方を見つめ直すときに来ています。みっけは、そんな未来への小さな一歩として、新しい学びの可能性を実践する場でもあります。

グループのVisionは「私たちは医療福祉のトップランナーになり、誰もが、どんな時も、自分らしく生きられる社会の実現を目指します。」です。枠組みに合わせるのが苦手な人、病気や障がいによって今までの枠組みに合わなくなった人たち。私たちはそうした生きづらさを持つ人々と日々向き合いながら、「じぶんを生きる」を支える医療福祉を実践しています。

みっけでの越境学習は、このVisionと深くつながっています。枠組みのない学びの場に身を置くことで、私たちは「じぶんを生きる」ことの難しさと尊さ、そしてそれを支えるケアの意味にあらためて気づくでしょう。

ここでの経験は、必ず患者さんの「じぶんを生きる」につながります。それは、私たち自身がもう一度“生きること”を学び直す時間であり、ケアの原点に立ち返る旅でもあるのです。

「森の学校みっけ」でできること



私とつながる

1日の始まりには「今日は何したい？」と話し合って計画を立てます。自分らしく人生をデザインできる「心の土台づくり」に取り組みます。

人とつながる
自分と相手の心の声に耳を傾ける「共感コミュニケーション」を大切にしています。認め合う文化を育み、あるがままの自分で人とつながります。



いのちとつながる

いのちを育て、収穫し、食べる。排泄が堆肥となり、次のいのちへと還っていく。循環する暮らしを体験を通して学び、生きる実感を取り戻します。

地域とつながる
地域に暮らすさまざまな人とともに、森づくりや文化を育む活動を行っています。「地域の学びのプラットフォーム」を目指しています。



地球とつながる

森や山、川のすべてが遊び場です。火・水・空気・土に触れながら、自然とともに生きる力を育み、持続可能でエシカルな暮らしをデザインします。

募集要項

【応募条件】病院所属のリハビリスタッフで、2026年4月から半年間、徳島県神山町への移住が可能な方

【就業期間】2026年4月1日～9月30日

【給与】出向時点の給与と同様（出向手当あり）

【住居】神山町内の社宅を利用（無料）

【通勤】自家用車・HMW社用車・自転車の利用可

【勤務時間】8:30～17:00

【休日】週休2日制 ※研修やイベントにより週休1日になることもあり・長期休暇あり（春・夏・冬の学校休暇期間に1週間程度）

【出向について】現在の所属から「森の学校みっけ」へ半年間の出向契約を結びます。半年後、元の所属に同条件で戻ります

応募・お問い合わせ
はこちらから▼

